

◎ 奨励

裏切らない桃しか勝たんまじ感謝

(白河南中) 高根沢 岳久

祖父の家成績伝え桃もらう

(白河中央中) 石田 彩夏

雨あがり地には湖空に虹

(白河南中) 藤田 蓮音

こたつという底なし沼の罪は深い

(白河中央中) 高橋 雄大

冬休なんでアイスを食べるのか

(白河南中) 本間 豊

たけのこがとんがってるなとろうかな

(白河中央中) 永畑 颯介

日に当たり溶けるわたしはアイスみたい

(五箇中) 乾 琴葉

暑いけど推しのライブに行きたいな

(白河中央中) 佐藤 優奈

おとなりのつぼめは何をはなしてる

(五箇中) 大輪 みつき

リア充をみんな花火で飛ばしたい

(白河中央中) 渡邊 紗羽

やまのぼりいっぼずつにねうみみえる

(白河第五小) 吉田 賢都

キラキラとかがやく姉はひまわりだ

(白河中央中) 小林 心愛

クワガタにえさをあげたらはさまれた

(白河第五小) 半澤 琉海

また失敗うつむいたときクローバー

(白河中央中) 穂積 明衣

どんぐりでこまを作って遊んだよ

(白河第五小) 鈴木 緩菜

弦音が鳴り響くたび桜散る

(白河中央中) 緑川 心春

妹の歩幅にあわせ夏祭り

(白河第五小) 廣川 明琉斗

時雨どきもうかなわない僕の恋

(白河中央中) 野地 雄太郎

クローバー河原で見つけ自慢する

(白河第五小) 白岩 芽依

雨あがり虹がかかって猫はしゃぐ

(白河中央中) 佐々木 采音

ホウと吐く桜吹雪に満月に

(須賀川市立第三中) 小川 朋夏

僕の頬君の金魚と同じ色

(白河中央中) 穂積 流音

かき氷「パパにはないからだまっとけ」

(鹿児島市立坂元中) 山口 結花

静寂の海に響くは鯨の歌

(白河中央中) 渡邊 福音

友達とながめる夜の暗い海

(鹿児島市立坂元中) 杉山 璃音

底見えぬ海を照らすは早星

(白河中央中) 大花 愛美

炬開や家族の手と手並び合う

(鹿児島市立坂元中) 末増 真歩

校庭のへちまぐんぐん三階へ

(高崎市立城東小) 石田 修也

反射した貝がら集める春の海

(鹿児島市立坂元中) 湯田平 結衣

あついからシートベルトで肉やけそう

(高崎市立城東小) 砂川 春馬

君の目にうつる花びら夏の夜

(鹿児島市立坂元中) 竹ノ内 楓

亀みたいゆっくり動く夏の雲

(高崎市立城東小) 十亀 穂風

友達とたこ焼き頬張る十四の夏

(鹿児島市立坂元中) 新福 優芽亜

おじぎ草ぼくもつられてこんには

(高崎市立城東小) 名小路 祥平

牛乳をこぼして見たら天の川

(鹿児島市立坂元中) 吉原 裕翔

花見していいスタートの匂いする

(大信中) 吉成 若菜

夏休み新潟行ってイルカ見た

(白河第三小) 加茂 源真

マフラーを首にまきつけアイス食べる

(大信中) 小磯 結愛

夏休みいとこに会いに東京へ

(白河第三小) 渡辺 春奈

日傘さし歩く人々眩しそう

(大信中) 小松 和実

田の中を稲がきらめく日の光り

(白河第三小) 齋藤 柚

秋の風吹く街中の広瀬川

(大信中) 橋本 和磨

十五夜のまんげつの夜とどきそう

(白河第三小) 斉藤 由弦

プール後トイレでまえがみなおす女子

(大信中) 兼子 望愛

こおろぎを拾ってあげるかなへびに

(白河第三小) 千葉 明莉

学校の窓から見える鹿二匹

(大信中) 小磯 楓太

クリスマススクッキーミルクおいてまつ

(白河第三小) 石井 莉華子

梅雨晴れやラディッシュの芽に水の粒

(古賀市立古賀東中) 中野 星南

白鳥の川に流れる白い羽

(白河中央中) 面川 さくら

灼くようなサドルの熱さに立ち漕ぎす

(古賀市立古賀東中) 後藤 慶次郎